

3分でわかる南アフリカワイン

<5> データで見る南アフリカワイン

MASUDA

South African WINE

～人と自然にやさしいワイン～

株式会社マスダ
southafricawine.jp



1. 基本データ

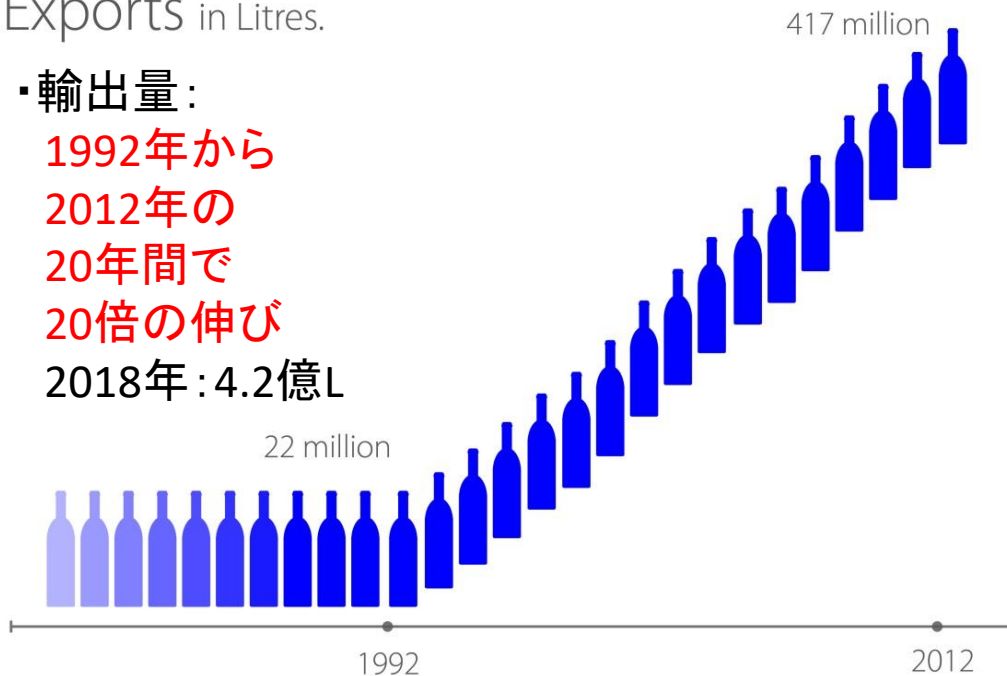
- 栽培面積92,000ha(2019年:減少傾向↓): **ボルドー**
- 生産量:9億7000万L(2019年): **世界第8位(世界シェア3.3%)**
約半分弱は輸出へ

Exports in Litres.

・輸出量:

1992年から
2012年の
20年間で
20倍の伸び

2018年:4.2億L



パッケージワイン輸出先(2018年):

- 1位: イギリス
- 2位: ドイツ
- 3位: オランダ
- 4位: スウェーデン
- 5位: アメリカ
- 6位: 中国



- ・栽培面積の推移: 栽培面積92,000ha (2019年: 減少傾向↓)

	1992	2012
栽培面積 HA	82844	100567
白品種の割合	82%	55%
赤品種の割合	18%	45%



1994年の民主化とともに北半球への輸出が伸び、
赤ワインの生産量が増加。

- ・ワイナリー: 542 (2018年) ステレンボシュ: 168



・主要ブドウ品種栽培面積：白55%、赤45%



シュナンブラン18.5%

(世界一の栽培面積&樹齢の古い物が多い)。

コロバール11.6%

ソーヴィニヨンブラン10.2%

シャルドネ7.2%



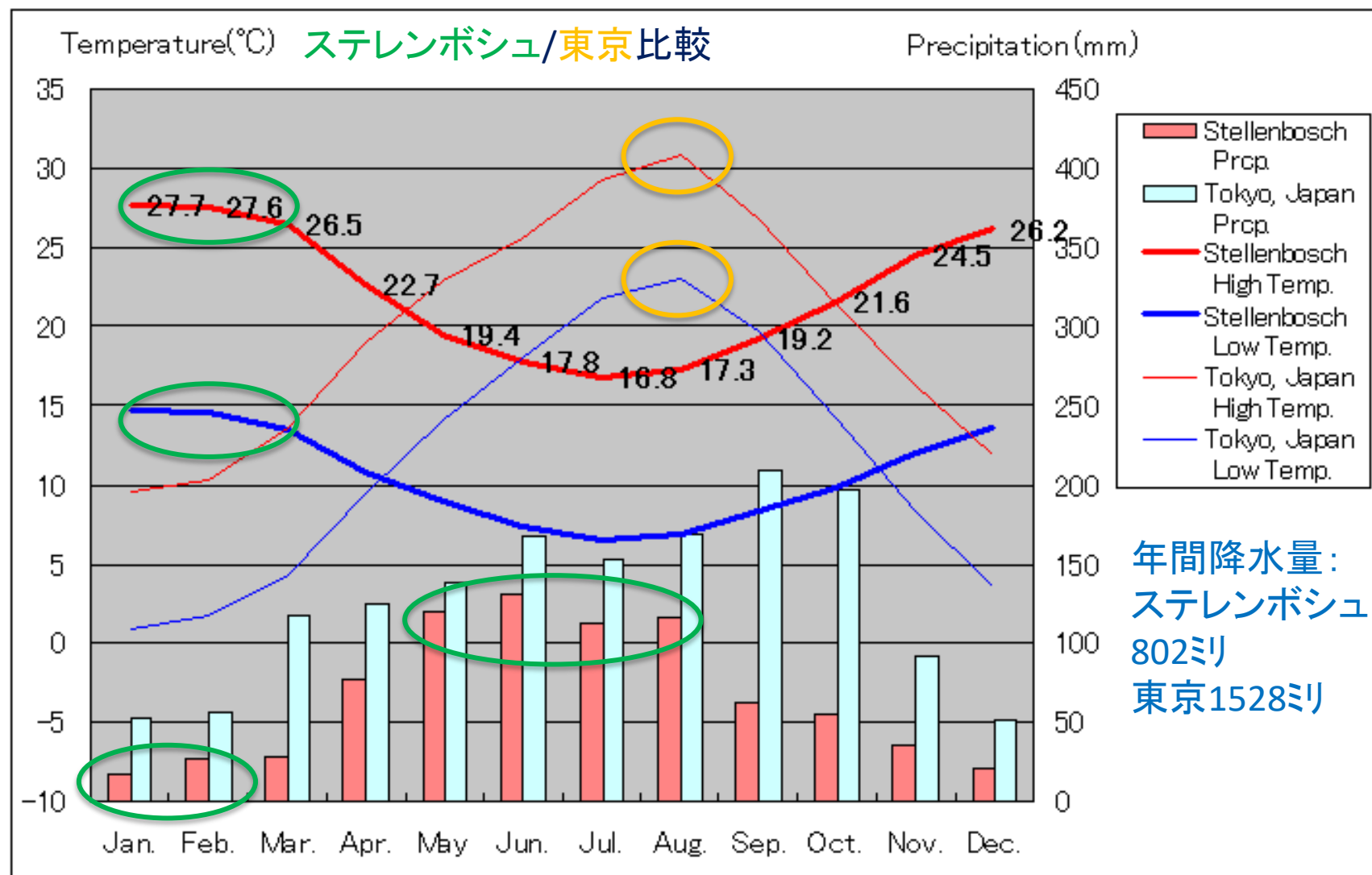
カベルネソーヴィニヨン11%

シラー(ズ)10.2%

ピノタージュ7.3%

メルロ5.8%。

・平均気温と降水量：地中海性気候：冬：涼しく降雨（5-8月）夏：暖かく乾燥（12-2月）





2. 南アフリカワインとは: 「旧世界のエレガンス、新世界の果実味」

▪ (ワインショップ・ダイブトゥワイン(東京)社長談)

「フランスのクオリティ、イタリアのバリエーション、チリのコスパ」

- ボルドー ← ステレンボシュ ・ ローヌ ← スワートランド
- ブルゴーニュ ← エルギン、ヘメルアンアード ・ シャンパーニュ ← MCC
- ジャンシス・ロビンソン「世界一のコストパフォーマンス」
- ニール・マーティン「新世界で最もエキサイティングなワイン生産国」

2014年ワインスペクテーター90点以上のワインの国別平均価格



南アフリカワイン
世界のコスパン



「飲む人も作る人も幸せに」

Thank you!

株式会社マスダ
southafricawine.jp
#ilovesawine_japan



「南アフリカワインの魅力」
@miyakeafrica

＜参考文献/資料＞

Wines of South Africa

「南アフリカワインのすべて」田辺由美著

https://www.travel-zentech.jp/world/kion/South_Africa/Stellenbosch.htm

<https://weather.time-j.net/Climate/Chart/tokyo>

http://vinicuest.com/wine_articles/2015/01/tt-22-jan-2015.html

本日のおすすめワイン ロバートソン・シラーズ ¥1,350

ROBERTSON
WINERY
ESTD 1941

Robertson Shiraz



- 生産者：南アフリカで3番目に大きなワイナリー
- 輸出：世界60か国以上。
- 畑：35の農家と契約。
- 土壌：石灰質が混ざった頁岩。
- 製法：フレンチ＆一部アメリカンオークで熟成6-8カ月。
- 風味：レッドベリー、ブラックベリー、黒コショウ、シナモン等
- 味わい：ミディアム～フルボディ。柔らかな酸、心地良い渋み、リッチな果実味、なめらかなテイスト。料理は何でも合う万能型。

飲み飽きしないバランスと控え目感。チキンラーメンみたいなワイン